



今号の紙面から

◎3面 3月~5月は市民課・各市民センターの窓口が大変混み合います

◎6・7面 子どもの居場所特集

遠くを望み、足元を見つめて20年

2006年3月以来、20年間、このまちの舵取り役を託されてきました。その役割りをどれだけ果たすことが出来たのか、あまり自信はありませんが、その時代、時代の要請に応えるべく心配りをし、また、市民の皆様の負託に応えるべく働いてまいりました。

20年前、地方分権の流れの中で、地方自治体自らの責任で、行政の効率化と、効果的な施策の実行が求められていました。当時、町田市の大きな行政課題として、廃棄物の適正な処理と資源化があり、また、地震に備えて、小・中学校、市庁舎の耐震性能の確保がありました。

私は、まず、効率的・効果的な施策の実行のため、組織の活性化と市民目線の諸改革を進めてきました。一つだけ例を挙げれば、朝、出勤した職員が市民の皆さんと同じ時間にエレベーターに乗り合わせることはなくなりました。

2010年11月、すべての小・中学校の校舎の耐震化を終えました。4か月後、東日本大震災が起きました。市庁舎は、新耐震設計のもと建設中でした。後年、バイオエネルギーセンターも完成しました。

同じく、時代は既に、少子・高齢化の時代でした。高齢者の尊厳を守り、子どもの健やかな成長を市民みんなで支える時代です。その時代の要請は、市民の声でもあります。特別養護老人ホームの増設や保育所の増設など、市民ニーズに応えるべく進めてきました。

町田市はご案内のように、財政が豊かではありません。施策・事業の選択はそのまま、市民の皆さんの要望に応えられないことを数える作業でもあり、その意味で、市民の皆さんの負託に応えられなかった20年であったかも知れません。

長く、苦しい、そして楽しい20年を、市民の皆さんに支えられて駆け抜けてきました。ありがとうございました。

町田市長 石阪丈一



2025年1月 鶴川香山園オープン



2023年9月 忠生スポーツ公園オープン



2022年1月 町田市バイオエネルギーセンター本稼働



2008年5月 町田市民病院南棟使用開始

Timeline table showing municipal events from 2006 to 2025. Columns include year, month, and event description. Key events include the start of the city council in 2006, the opening of the bio energy center in 2022, and the opening of Kaigan Park in 2025.

市政のあゆみ 2006年~現在